

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和6年1月4日 / No.5

明けまして

おめでとうございます。

「おかえり」

私がいつも家に帰り、「ただいま。」と言うと、家の中から「おかえり。」と言葉が返ってきます。学校が早帰りのとき、いつものように「ただいま。」と言いました。しかし、誰もいない家は静まり返ったままでした。私はそのとき、とても寂しい気持ちになりました。そして、言葉が返ってくるののありがたさを感じました。言葉のバトンを受け取ってくれる人がいるから、つながっていくのだと実感しました。

「ありがとう」

私が遊園地に行った時に小さい男の子が乗り物からおりられずに困っていたので、私がその子に声をかけ、アトラクションのスタッフさんを呼びました。すると、外にいた親さんや男の子に「ありがとう」と言ってもらえました。言ってくださったおかげで、私は少しでも人の助けになれたのだなと嬉しくなりました。これからは困っている人がいたら、少しでも助けになる行動をとりたいです。

「いっしょにあそぼ。」

わたしが休み時間に一人であそんでいたら、お友だちが「いっしょにあそぼ。」と言ってくれました。その時わたしは、とってもやさしい友だちなあと思いました。わたしも、お友だちにやさしくしたいです。

「また 来てね」

93歳のおばあちゃんの家に行って、帰るときは、いつも「また来てね」と言われます。「また来てね」と言われると、心が温まり、うれしくなります。おばあちゃんにはこれからも長生きしてほしいです。

「あなたでよかった 本番も頑張っってね」

私は、合唱祭で伴奏をしました。オーディションではもう一人練習してきた子がいました。その子もとても上手だったけど、私が受けました。それで仲が悪くなってしまったり、「私の方が良かったのに・・・」と思われたりするのが嫌で、とても心配でした。けれどその子は、いつも通り接してくれたし、合唱祭に近づくにつれて上達していることを知っていてくれて、「最後の弾き方がとっても力強く好きやよ！ピアノがあなたで良かった。本番も頑張っってね。」と言ってくれました。その言葉は私の心にとっても響き、私はその子の分まで頑張れたのかなと思いとでもうれしかったです。

「ありがとう、大切にすね」

8月8日は私のおばあちゃんの誕生日でした。私は弟とバースデーカードを書き、渡しました。おばあちゃんは両親が仕事に行っている間、いつも私達をみてくれます。おいしいご飯をつくってくれます。日頃の感謝をこめてカードを書きました。おばあちゃんはとてもうれしそうに「ありがとう、大切にすね」と受け取ってくれて、私も弟も心が温かくなりました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。